

# 財政運営のあり方を問う



質問者  
小澤 啓司 議員

自主財源比率の低下が続いています。町税の減収と依存財源の増加に原因があると思われるが、どのように立て直しを図るのかお尋ねします。

大規模改修に見直す考えはありませんか。以上具体的な説明を求めます。

- ① 自主財源を増加させるために、どのような施策を実行されますか。
- ② 町債残高や公債費が増加傾向にあるが、どのように対処されますか。
- ③ 財政の悪化を招く松田小学校建替計画を、

**A** 定住化の促進と住民サービスの向上に努める  
回答 (町長)



新築は定住化の促進

- ① 将来人口1万1000人を目標に、生産年齢人口の増加を図る。そのために定住化促進事業として、町内に新築・改築をして転入した方に祝金の支給、住宅資金利子補助を拡充する。

- ② 新たに小児医療費助成の拡大など、住民サービスの向上に努める。
- ③ 南口整備事業など大型事業に取り組んでい



質問者  
石内 浩 議員

## 新しい総合計画の具体的取り組みについて

るが、起債発行には基礎的財政収支を考慮した財政運営に努める。

- ③ 松田小学校は昭和48年完成で、築38年が経過している。老朽化が進み耐震や雨漏りなど各種補強工事を実施してきたが改善が見られない。良好な教育環境の整備は必要であり、今年度から整備基金の積み立てを行い、施設整備を計画的に進める。



中津川 (寄地区)

- 基本構想を前提として、「都市化の力」プラス「自然力」から魅力の創造発信し、「松田スタイル」の確立。という素晴らしいスローガンが示されたが、その実行に際し次の2点に絞り伺いたい。
- ① 「都市化の力」の基

- 盤ともなる「定住化促進」をどう進められるのか。
- (1) 定住化⇨生産年齢層の拡大でなければならぬが、必要な現状分析は。
  - (2) 人口減の要因でもある借家・アパートの入

**A** 新しい町営住宅の建設  
回答 (町長)

- ① 新たな予算枠として、町営住宅建設の基本設

- ② 「自然力」の表現では、山林・河川に対し新しい取り組みは。
- (1) 山・川の景観を良くするため、どのような論議がされているのか。
- (2) 県・水源環境税の支援対象が少なすぎる。町の取り組み不足はないのか。

- 計に375万円、用地取得に5202万円。町内に移転し新築・改築された方に20×10万円の祝金支給、空家情報のホームページ検索や定住化に向けた「松田ガイド」を作成し、各方面に、アピールする。
- 松田町にあるアパートは177棟・1117室、入居率は71%。老朽アパートの改修支援は定住化対策と考える。
- ② 「水源の森林づくり事業」等の推進のための枝打ち、間伐の補助等を継続する。交付対象は町有林整備が主体だが、下水道整備等の補助対象拡大要請を行う。